

令和6年度
学校関係者評価書

自：令和 6年 4月 1日
至：令和 7年 3月31日

奈良コンピュータ専門学校
学校関係者評価委員会

1. 目的

学生が質の高い実践的な職業教育を受けられるよう、学校運営の改善と発展を目指すため、学校評価（自己評価・学校関係者評価）と実施する。

専門学校として、実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成度等について評価する。また、その評価結果に基づき、学校としての組織的・継続的は改善を図る。

2. 学校関係者評価

卒業生・企業・業界団体等の学校関係者などを選任し、令和5年度の学校業務について、学校が自ら行った自己評価結果についての評価を行い、改善に向けて助言を行う。

3. 評価項目

- (1) 自己評価の内容が適切か。
- (2) 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方法が適切か。
- (3) 学校の重点目標や具体的方法等が適切か。
- (4) 学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切か。

4. 組織

- (1) 事務局 学校長代行
 事務局 副校長
 事務 事務職員
 委員 保護者
 卒業生
 地域住民
 高等学校関係者
 地域企業会長

(2) 任期

令和6年5月1日から令和7年3月31日までの期間とする。

5. 実施

日時：令和7年5月10日（土）13時～

場所：奈良市西大寺新田町1-15 学校法人永井学園内 21講義室

6・評価要領

委員会の開催が、自己評価を委員に事前説明・配布し、対面にて話し合う形をとった。

7. 自己評価概要

(1) 教育理念・目的・人材育成像

- 1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか
- 1-2 学校の特色は何か
- 1-3 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

(2) 学校運営

- 2-1 運営方針は定められているか
- 2-2 事業計画は定められているか
- 2-3 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- 2-4 人事、給与に関する制度は整備されているか
- 2-5 教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか
- 2-6 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

(3) 教育活動

- 3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
- 3-2 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- 3-3 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- 3-4 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか
- 3-5 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 3-6 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか
- 3-7 資格取得の指導体制はあるか
- 3-8 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- 3-9 職員の能力開発のための研修等が行われているか

(4) 学修成果

- 4-1 就職率の向上が図られているか
- 4-2 資格取得率の向上が図られているか
- 4-3 退学率の低減が図られているか
- 4-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

(5) 学生支援

- 5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 5-2 学生相談に関する体制は整備されているか
- 5-3 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか
- 5-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 5-5 学生の生活環境への支援は行われているか
- 5-6 保護者と適切に連携しているか

- 5-7 卒業生への支援体制はあるか
- 5-8 関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等を行っているか

(6) 教育環境

- 6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 6-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか
- 6-3 防災に対する体制は整備されているか

(7) 学生の受入れ・募集

- 7-1 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか
- 7-2 学生募集活動は、適正に行われているか
- 7-3 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか
- 7-4 学生納付金は妥当なものとなっているか

(8) 財務

- 8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 8-3 財務について会計監査が適正に行われているか
- 8-4 財務情報公開の体制整備はできているか

(9) 法令等の遵守

- 9-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- 9-3 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
- 9-4 自己評価結果を公開しているか

(10) 社会貢献・地域貢献

- 10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか

(11) 国際交流

- 11-1 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか
- 11-2 受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか
- 11-3 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか
- 11-4 学内での適切な体制が整備されているか

8. 自己評価結果と改善点の概要

(1) 教育理念・目的・人材育成像

- ・少人数制による個々の能力を伸ばす

→日本人学生は少人数のため、細やかな指導が可能

- (2) 学校運営
 - ・事業計画について
 - (3) 教育活動
 - ・教員研修について
 - オンラインでの研修に参加
 - (4) 学修成果
 - 内定獲得に直結している
 - (5) 学生支援
 - ・卒業生の支援
 - 支援制度がある
 - (6) 教育環境
 - ・避難訓練等の実施状況
 - 毎年実施している
 - (7) 学生の受入れ・募集
 - ・募集活動に関して
 - 留学生に対しても適正に入学試験（筆記・面接）を行っている
 - ・適正校を継続できるよう、指導・管理を徹底する
 - (8) 財務
 - ・安定している
 - (9) 法令等の遵守
 - ・適切な運営に努めている
 - (10) 社会貢献・地域貢献
 - ・奈良県警サイバー犯罪課と連携し、動画作成等を行っている
 - 本年も動画作成分は県警ホームページにアップされている
 - 京都府警・滋賀県警・奈良県警合同のサイバー犯罪に対する啓発活動（京都イオン）にボランティアとして運営面で参加した
 - (11) 国際交流
 - ・学園祭として、留学生が母国料理の模擬店を出店
 - 交流を図っている
9. 項目別評価結果（順不動 自由記述）
- (1) 教育理念・目的・人材育成像
 - (2) 学校運営
 - (3) 教育活動
 - ・シラバスの説明
 - ・教員研修再開後参加予定 オンラインによる
 - ・携帯電話の適切な使用

- (4) 学修成果
 - ・就職希望者はほぼ内定を
- (5) 学生支援
 - ・適切
 - ・対面授業
- (6) 教育環境
 - ・新型コロナ対策 しっかりできている
- (7) 学生の受入れ・募集
 - ・学園独自の学費の減免もありよい
- (8) 財務
 - ・適切
- (9) 法令等の遵守
 - ・適切な運営に努めていると思う
 - ・評価は適切
 - ・個人情報に関して、説明がなされている
- (10) 社会貢献・地域貢献
 - ・奈良県警察サイバー犯罪課と連携
 - ・学生の掃除が毎週にある
 - ・通学路清掃がある
- (11) 国際交流
 - ・適切に評価が行われている

10. 学校評価委員からの総括

- ・留学生の国際交流が地域に広がることも期待
- ・朝の登校指導の継続
- ・留学生の適切な管理の継続

令和6年度
学校関係者評価書

自：令和 6年 4月 1日
至：令和 7年 3月31日

奈良総合ビジネス専門学校
学校関係者評価委員会

1. 目的

学生が質の高い実践的な職業教育を受けられるよう、学校運営の改善と発展を目指すため、学校評価（自己評価・学校関係者評価）と実施する。

専門学校として、実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成度等について評価する。また、その評価結果に基づき、学校としての組織的・継続的は改善を図る。

2. 学校関係者評価

卒業生・企業・業界団体等の学校関係者などを選任し、令和5年度の学校業務について、学校が自ら行った自己評価結果についての評価を行い、改善に向けて助言を行う。

3. 評価項目

- (1) 自己評価の内容が適切か。
- (2) 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方法が適切か。
- (3) 学校の重点目標や具体的方法等が適切か。
- (4) 学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切か。

4. 組織

- (1) 事務局 学校長代行
 事務局 副校長
 事務 事務
 委員 保護者
 卒業生
 地域住民
 高等学校関係者
 地域企業会長

(2) 任期

令和6年5月1日から令和7年3月31日までの期間とする。

5. 実施

日時：令和7年5月10日（土）15時～

場所：奈良市西大寺新田町1-15 学校法人永井学園内 21講義室

6・評価要領

委員会の開催が、自己評価を委員に事前説明・配布し、対面にて話し合う形をとった。

7. 自己評価概要

(1) 教育理念・目的・人材育成像

- 1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか
- 1-2 学校の特色は何か
- 1-3 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

(2) 学校運営

- 2-1 運営方針は定められているか
- 2-2 事業計画は定められているか
- 2-3 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- 2-4 人事、給与に関する制度は整備されているか
- 2-5 教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか
- 2-6 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

(3) 教育活動

- 3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
- 3-2 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- 3-3 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- 3-4 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか
- 3-5 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 3-6 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか
- 3-7 資格取得の指導体制はあるか
- 3-8 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- 3-9 職員の能力開発のための研修等が行われているか

(4) 学修成果

- 4-1 就職率の向上が図られているか
- 4-2 資格取得率の向上が図られているか
- 4-3 退学率の低減が図られているか
- 4-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

(5) 学生支援

- 5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 5-2 学生相談に関する体制は整備されているか
- 5-3 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか
- 5-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 5-5 学生の生活環境への支援は行われているか
- 5-6 保護者と適切に連携しているか

- 5-7 卒業生への支援体制はあるか
- 5-8 関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等を行っているか

(6) 教育環境

- 6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 6-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか
- 6-3 防災に対する体制は整備されているか

(7) 学生の受入れ・募集

- 7-1 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか
- 7-2 学生募集活動は、適正に行われているか
- 7-3 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか
- 7-4 学生納付金は妥当なものとなっているか

(8) 財務

- 8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 8-3 財務について会計監査が適正に行われているか
- 8-4 財務情報公開の体制整備はできているか

(9) 法令等の遵守

- 9-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- 9-3 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
- 9-4 自己評価結果を公開しているか

(10) 社会貢献・地域貢献

- 10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか

(11) 国際交流

- 11-1 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか
- 11-2 受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか
- 11-3 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか
- 11-4 学内での適切な体制が整備されているか

8. 自己評価結果と改善点の概要

(1) 教育理念・目的・人材育成像

- ・医療秘書科は少人数制による個々の能力を伸ばすし、検定試験合格を目指している
就職活動も個々の希望を聞き入れ、個々に合った就職先を指導する
- ・留学生は能力別クラス制を実施することにより、個々の能力アップを目指す

(2) 学校運営

- ・事業計画についての説明

(3) 教育活動

- ・教員研修について

→実際の病院現場の話聞く機会を作る

卒業生の就職先訪問、病院実習の挨拶時、事務長もしくは医事課長等々の要望も聞く

(4) 学修成果

毎年、全国医療秘書協議会より全国優秀者を輩出

→成果が出ている

(5) 学生支援

- ・卒業生の支援

→卒業生が就職後報告がてら、訪問が多い

→転職支援が手厚いのも良い

(6) 教育環境

- ・避難訓練等の実施状況

→毎年実施している

(7) 学生の受入れ・募集

- ・募集活動に関して

→少子化の中において、奈良県内の希望者が少ない

→日本語学科の募集はコロナ以降安定

(8) 財務

- ・安定している

(9) 法令等の遵守

- ・適切な運営に努めている

(10) 社会貢献・地域貢献

- ・医療秘書科も毎年奈良コンピュータ専門学校とともに奈良県警サイバー犯罪課サイバー犯罪啓発活動に参加している

サイバー犯罪啓発動画および、京都イオンにて、京都府警・滋賀県警・奈良県警合同の啓発活動にボランティアとして参加

- ・大安寺にて笹娘として、ボランティア参加

(11) 国際交流

- ・奈良コンピュータ専門学校の留学生が学園祭として、母国料理の模擬店を出店
そこに、奈良総合ビジネス専門学校留学生も参加し、日本人との交流を図っている

- ・国際交流イベントに参加

9. 項目別評価結果（順不動 自由記述）

（1）教育理念・目的・人材育成像

- ・病院実習による直接的な交流が再開（新型コロナ禍以来）

（2）学校運営

（3）教育活動

- ・朝、登校指導とあいさつに取り組んでいることが評価されつつある

（4）学修成果

- ・今年も、多くの資格を取得し卒業

（5）学生支援

- ・少人数を生かした個別の就職指導

（6）教育環境

- ・病院実習再開

（7）学生の受入れ・募集

- ・少子化の影響と奈良県の進学状況
- ・学費の減免もありよい

（8）財務

- ・適切

（9）法令等の遵守

- ・個人情報に関して、オリエンテーション時に説明がなされているとのこと

（10）社会貢献・地域貢献

- ・奈良県警サイバー犯罪課との連携
- ・学生の毎週の掃除がある

（11）国際交流

10. 学校評価委員からの総括

- ・全員が医療事務として就職できている
- ・個々の進度に合わせて、授業の展開をしてくれた
- ・医療事務という仕事に対する高校生の認知度UP